

7/21 木 7時

維新・吉村氏「国会議員定数3割減」

「日経」インタビュー

日本維新の会の吉村洋文共
同代表（大阪府知事）が、15
日に配信された日本経済新
聞（電子版）のインタビュー
で、「国会も議員の定数や報
酬の削減から始めるべき」
「維新が直面」と書いて代わ
ればただちに定数の3割減を
実行する」と発言しました。

「身を切る改革」は 「民意を切る改革」

「身を切る改革」を訴える維
新の会ですが、実際は「国民
を切る改革」と呼ぶべきもの
です。

現在、国会議員の定数は衆
院（電子版）のインタビュー
で、「国会も議員の定数や報
酬の削減から始めるべき」
「維新が直面」と書いて代わ
ればただちに定数の3割減を
実行する」と発言しました。

吉村氏は、あたかも議員の
立場が議員個人のものである
かのように言いますが、議員
身を切り、實情を示すべきだ

定数削減は国民が政治に参加
する権利を削り、多様な民意
を切り捨てるのです。議員

定数削減は、行政をチエック
する議会機能を弱めることに
参合わせ「一人一人ですが、議

員定数が3割削減となれば2
00人以上も議員が減る」と
になります。

維新は「国民」に負担を強い
て他なりません。

維新は「身を切る改革」と
言いますが、21年の「政黨交

付金使途等報告書」によれば、
國民の税金である政黨助成金

（政党交付金）を19億224
5万1000円も受け取って

います。「身を切る改革」と
いふのであれば、まず政黨助

成金を返還すべきです。

（岬麻紀・衆院財務金融委員

会23年5月）と書いていました。

定数削減の先にあるのは、社
会保障の切り捨てや増税で國

民に負担を強いることです。

政黨助成金返還こそ